

JLIA 研修会開催のお知らせ

「司法通訳人の現状と課題」

我が国の刑事司法は、裁判員裁判の導入、取り調べの一部可視化など、着実に変化してきています。そのような中で、司法通訳人は、裁判所、警察署及び検察庁で通訳として関わるがありますが、どのような考え方で通訳をしたらよいのか、日々疑問に思うことも多いかと思えます。

そこで、日本司法通訳士連合会では、この度、弁護士から見た司法通訳人の現状と課題をお話しいただき、その後、皆様からの疑問や意見、司法通訳人の問題点をディスカッションしたいと考えています。

ふるってご参加下さいますようよろしくお願いいたします。申込みは、FAXまたはE-Mail (info@j-law-interpret.com) でお願いたします。

研修テーマ	「司法通訳人の現状と課題」
講師	要通訳刑事事件を多数経験した弁護士
研修日時	平成22年4月12日(月曜日) 18時00分 ~ 20時30分
研修会場	港区麻布区民センター 2階 講習室 (東京都港区六本木5-16-45)
資料代	1,000円
定員	30名 (申込順)

【次回の予定】

当連合会では、平成22年5~6月頃、「もしあなたが裁判員裁判の通訳人になったら」と題して、裁判員裁判を経験した弁護士に裁判員裁判の現状をお話しいただく予定です。

申込時期はホームページでお知らせ致します。 <http://www.j-law-interpret.com>

日本司法通訳士連合会 行 (TEL 03-5545-5666 FAX 03-5545-5668)

上記研修会に参加いたします。

氏名	ふりがな	男 / 女
年代	住所	
国籍	言語	
TEL	FAX	
メールアドレス		

ご意見・ご要望